

授業科目名・形態	地域共生社会に向けた多職種連携 講義	必修・選択の別	選択	単位数	2
科目担当者氏名	工藤 智美	実務経験の有無	無	開講期	2年後期

【授業の主題】

本科目では、最初に地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題について学びます。そして、地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制として、地域包括ケアシステム、生活困窮者自立支援法等について学びます。さらに地域共生の実現に向けた多機関協働について学びます。その他災害時における総合的かつ包括的な支援体制について学びます。最後に、地域福祉と包括的支援体制の展望についてミクロ・メゾ・マクロの関係から考えていきます。

【到達目標】

1. 包括的支援体制の考え方と多職種および多機関協働の意義と実際について説明できる。
2. 地域生活課題の現状を踏まえ、包括的支援体制におけるソーシャルワーカーや看護職の役割を説明できる。
3. 地域包括ケアにおける多様な専門職および地域の人々と連携・協働し、ソーシャルワーカー、看護職の役割を發揮するための支援のあり方を理解し、実践力を培う。

【授業計画・内容】

- 第1回 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題①—地域社会の概念と理論—
- 第2回 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題②—地域社会の変化—
- 第3回 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題③—多様化・複雑化した地域生活課題の現状とニューズ—
- 第4回 地域社会の変化と多様化・複雑化した地域生活課題④—地域福祉と社会的孤立—
- 第5回 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制①—包括的支援体制—
- 第6回 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制②—地域包括ケアシステム—
- 第7回 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制③—生活困窮者自立支援の考え方—
- 第8回 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制④—地域共生社会の実現に向けた各種施策—
- 第9回 地域共生の実現に向けた多機関協働①—多機関協働を促進する仕組み—
- 第10回 地域共生の実現に向けた多機関協働②—多職種連携—
- 第11回 地域共生の実現に向けた多機関協働③—福祉以外の分野と機関協働の実際—
- 第12回 災害時における総合的かつ包括的な支援体制①—非常時や災害時における法制度—
- 第13回 災害時における総合的かつ包括的な支援体制②—非常時や災害時における総合的かつ包括的な支援—
- 第14回 地域福祉と包括的支援体制の課題と展望①—地域福祉ガバナンス—
- 第15回 地域福祉と包括的支援体制の課題と展望②—地域共生社会の構築—

【授業実施方法】

講義およびグループワークを行う。

【授業準備】

テキスト、参考文献を読み込んでおくこと。また、重層型支援体制整備事業について事前学習を行っておくこと。

【主な関連する科目】

地域福祉論、社会福祉概論Ⅰ、貧困に対する支援

【教科書等】

地域福祉と包括的支援体制(最新 社会福祉士養成講座・精神保健福祉士養成講座)中央法規、東京、2021年。

【参考文献】

都築光一：新しい地域福祉推進の理論と実際、中央法規、東京、2007年。岩田正美：社会的排除、有斐閣、東京、2008年。

【成績評価方法】

態度10%、レポート30%、定期試験60%により総合的に評価する。60%以上の得点を合格とする。

【学生へのメッセージ】

皆さん自身が、地域住民です。他人事ではなく、私事として地域問題を考えていってください。